事業報告概要書（公表版）

1　基本情報

施設名又はグループ名	指定管理者名及び団体概要
東京都霊園	（指定管理者名）公益財団法人　東京都公園協会 （団体の概要）都市緑化の推進、公園や水辺を通じた安らぎとゆとりの提供を目的として設立され、公益目的事業（指定管理者事業を含む）及び収益事業を行う。
指定期間	
H28.4.1　～　R8.3.31（10年間）	

2　施設名

青山霊園、谷中霊園、雑司ケ谷霊園、染井霊園、八柱霊園、八王子霊園、多磨霊園、小平霊園

3　収支（単位：千円）

項目		令和７年度 金額	令和６年度 金額	令和５年度 金額
収入　計		2,111,285	1,918,498	1,844,574
内訳	指定管理料	2,111,285	1,918,498	1,844,574
内訳	利用料金	0	0	0
内訳	その他収入	0	0	0
支出　計		2,111,485	1,923,168	1,830,247
収支差		△200	△4,670	14,327

公園別支出額

青山霊園:175,806　谷中霊園:108,035
雑司ケ谷霊園:178,372　染井霊園:68,563
八柱霊園:383,553　八王子霊園:205,878
多磨霊園:576,557　小平霊園:414,721

4　管理運営の概要

■周年事業による霊園の新たな魅力創出と地域連携の強化

八柱霊園では開園90周年を迎え、霊園の魅力発信と地域連携の取組を強化した。年3回の霊園まつりでは松戸市の取組と連動したアートイベントや教育機関と連携したコンサートを開催した。さらに鉄道会社と連携したスタンプラリーを初開催したことにより、約4,500人の方がまつりに参加し、大盛況となった。各霊園では例年取組んでいる地域のつながりを活かした花壇づくり、清掃活動、防災訓練、ガイドツアー等について、参加団体の拡大や、既存の取組から工夫を加えて開催し、霊園の魅力を発信した。

■公平・公正な霊園事務の遂行と墓所の適正利用に向けた取組

霊園管理料の滞納解消を目的に、督促納付書送付後に納付がなかった使用者を対象に、納付を促す文書送付を新たに実施した。加えて、3年以上納付のない使用者の墓所に案内看板を設置することで、使用者及び親族に対し、管理料滞納であることを伝え、納付につなげた。戸籍等の公用請求による使用者の存否確認と承継指導を令和6年度から継続して強化したことにより、墓所の適正利用を推進した。

■霊園業務を支える基盤強化とDX 推進

統一的な霊園事務のため、既存のマニュアルや手引き等を集約した「霊園業務マニュアル」を制作した。DX推進の取組では都立霊園ＨＰの問合せ用チャットボットをリニューアルし、利便性が向上した。個人情報に係る事故防止対策として、年度のプライバシーマークを取得した。業務フローや内部監査に基づき適切に個人情報を管理した。

5　管理状況

①維持管理

◎都立公園・霊園の倒木事故を受け、都立霊園全体で緊急樹木点検を実施した。点検結果に基づき、樹木医による樹木診断を行い、枯損等による危険と診断された樹木については伐採対応を行い、安全に霊園が利用できるよう対応した。
◎芝生墓地のある各霊園では、引き続き火災防止対策を行った。小平霊園では令和6年度火災が多く発生したことから、職員全員が対応フローを熟知し、体制を強化した。加えて八柱霊園で効果のあった人感センサー付自動音声案内や合同香炉を設置するとともに、警備員の増員して対応したことにより火災発生件数は０件となった。
◎八王子霊園では引き続き獣害対策として、超音波式害獣忌避装置の設置、定期的な樹林地巡回点検継続のほか、トレイルカメラ解析で出没頻発地域を特定し、北門と南門の歩行者用通路を夜間閉鎖したことにより芝生被害面積が2㎡となり、大幅な削減に成功した。
◎各霊園では、引き続き園路や段差のバリアフリー化を進めた。染井霊園では新たに使用開始となった第2・第3立体埋蔵施設に至る園路に緑芝シートを設置し、快適な墓参環境を提供した。また、青山霊園では年度当初の調査に基づき、側溝の敷石補修や細園路の敷石補修を21箇所行い、墓参者の安全を確保した。

②利用者への対応

◎雑司ケ谷霊園では、区部4霊園150周年事業で好評を得た取組を拡充した。NHK朝の連続テレビ小説で小泉八雲が題材の「ばけばけ」が放送がされていることを受け、小泉八雲の著書に関連した怪談落語会を開催した。併せて小泉八雲の墓所ガイドツアーを開催し、54人が参加した。多くの方々に霊園の新たな魅力をアピールした。
◎谷中霊園では、外国人観光客や高齢者、障害のある方から正確に要望を聞き取り、情報提供をするために「指さしコミュニケーション支援ボード」と「文字盤」を設置した。意思疎通がスムーズになり、利用者に寄り添った接遇を提供した。
◎多磨霊園では、適正で円滑な承継によって無縁化を防止していくため、都立霊園初の試みとなる司法書士による祭祀財産承継相談会を開催した。相談者の事情に寄り添い、専門家による法的な見解と手続きについて案内した。相談者からは「説明が具体的で分かりやすい」と感謝の声を多数いただいた。
◎発災時の避難場所となる各霊園では、引き続き、地域や来園者と連携して防災に係る取組を実施した。地元消防署及び消防団の協力による、消火訓練や近隣保育園の引取訓練への協力等を継続することで地域防災力の向上に寄与した。

6　利用者アンケート結果

実施方法：園内で調査票を配布・回収／QRコード掲示によるWEBアンケート

施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の応対
青山霊園	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0
谷中霊園	3.8	3.7	3.7	3.9	4.0
雑司ケ谷霊園	3.9	3.8	3.8	3.9	3.9
染井霊園	3.7	3.5	3.6	3.6	3.8
八柱霊園	3.6	3.5	3.5	3.6	3.9
八王子霊園	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9
多磨霊園	3.6	3.5	3.4	3.7	3.9
小平霊園	3.7	3.8	3.5	3.7	3.9

7　入園者数の状況（単位：人）

施設名	当該年度	分析
青山霊園	-	近隣教育機関と連携した花壇づくりや、福祉施設と連携した広場活用により、霊園への親しみを醸成した。
谷中霊園	-	日本文化の展示や地域連携による花壇づくりで美観を向上させ、外国人、観光客を含む利用者から好評を得た。
雑司ケ谷霊園	-	地元区やボランティア、石材店等との連携による様々な取組を通じて、霊園の魅力を広くアピールした。
染井霊園	-	近隣保育園や消防、石材店等と協働した取組を通じて、災害時も含めた連携強化に繋げた。
八柱霊園	-	90周年記念事業に併せて霊園まつりや防災訓練を拡充したことにより、地域連携と防災力を強化した。
八王子霊園	-	芝生地の水はけ改善による生育促進や害獣対策の推進によって、美しい墓参環境を提供した。
多磨霊園	-	みたま堂の改修工事に伴う施設の運用変更に的確に対応し、利用者ニーズを踏まえたサービス向上の取組も行った。
小平霊園	-	芝生火災対策や倒木対策を重点的に実施したことにより、安心・安全な環境を提供した。
合　計	-	

青山霊園

東京都公園協会
霊園キャラクター
「みたまちゃん」

都会のオアシスとして、歴史と地域に寄り添う霊園管理

所在地：港区／開園面積：26.35ha

子どもたちを育み、地域に親しまれる霊園へ

新規 「みなみあおやま こどもアートウォーク」との連携

近隣保育園主催の子ども向けアートイベントとコラボ。お散歩しながらお墓の説明を受けられる形式で**シールラリー**を開催した「ユニークなお墓めぐり散歩」と、**グリーンアドバイザー**を招いて「親子で花植え体験」を実施。2 日間で延べ39人の方が参加した。**地域連携の強化**とともに、都心の子どもたちに自然と触れ合う場を提供し、広場に設置したプランターで景観も向上した。（11月）

お墓めぐり散歩

みんなで記念撮影

改善 教育機関の校外学習を受入れ

青山小学校 2 年生20人の校外学習「まちたんけん」と青南小学校 3 年生 6 人の校外学習「町探検」を受け入れた。「この仕事はどんな時が楽しいか」「どんな著名人がいるのか」など積極的な質問があり、**青山霊園についての興味・関心を高めた。**「いろんな形のお墓があって楽しかった」等の感想があり、**新たな発見と学習の場を提供した。**（6 月、11月）

外人墓地の説明

児童からのお礼状

改善 消火訓練・AED訓練

近隣保育園と連携し、水消火器による消火訓練とAED訓練を実施。今年度は新たな保育園にも参加を呼び掛け、昨年の 3 倍となる32人の保育園児が参加した。**実践的な訓練を通じて、地域の防災意識が向上した。**（1 月）

訓練用人形をつかったAED訓練

改善 マナー啓発塗り絵の掲示

管理所内にマナー啓発塗り絵コーナーを設置。近隣保育園57人の塗り絵に加え、**今年度は墓参者や来園者、近隣住民48人も参加。**昨年度よりも多くのポスターを掲示することで、ゴミの持ち帰り等の園内マナーの向上を呼びかけた。（9 ～ 3 月）

力作揃いの塗り絵

改善 著名人墓所ガイドツアー

港区ボランティアガイドによる「著名人墓所ガイドツアー」を実施し、6 人が参加した。著名人墓所14箇所を紹介。港区観光協会との連携によって、青山霊園が持つ**歴史資源の積極的活用と魅力発信を強化**することができた。（3 月）

港区ボランティアガイドによるガイドツアー

外周道路を含めた安全・安心な樹木管理の実施

改善 樹木点検の強化

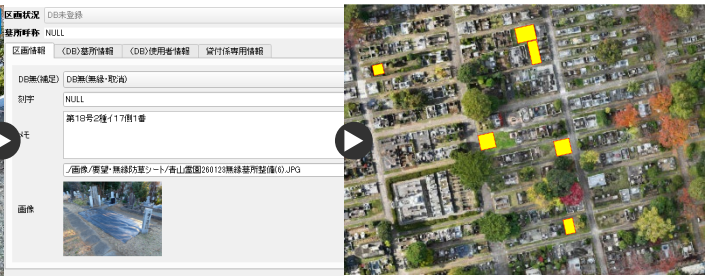
外苑西通りの倒木事故を受け、倒木等の未然防止として緊急樹木点検を実施した。園内樹木4,213本を点検した。外苑西通りは、**擁壁と斜面地のため管理をしづらい場所だったが、下草刈りやつる植物等を除去し、根株を含めて重点的に点検を実施**。樹木医による診断で危険木と診断された７本の樹木処理を行った。
併せて道路側への越境枝等の剪定も行い、落枝を予防。実生木も除去したことにより**景観も向上し、安全・安心な霊園環境を確保した。**今後も計画的に点検を実施する。（５～３月）

デジタルマップを活用した新たな霊園管理

新規 マップ上の区画と墓所状況が連動した効率的な墓所管理

これまで墓所に付随する管理は紙の切図に直接記載する方法を取っていたが、令和６年度にドローンによる空中測量により作成したデジタルマップを用い、より高精度な墓所管理を開始した。墓所の現況調査結果と各区画の精細なフォトデータを一元化。**霊園全体の墓所ステータスをリアルタイムかつ多角的に俯瞰することが可能となり、管理精度が向上**した。令和７年度は空き墓所等の雑草繁茂等に対する対応要望を受けて対応した防草シート設置７箇所や、園地や隣接墓所に影響を及ぼす個人墓所内の支障木53箇所を**デジタルマップに反映し、時系列での効果検証を行った。園内環境の最適化に向けた一歩となり、今後の迅速な是正措置へと繋げる。**（１～３月）

雑草繁茂の要望に対し、防草シートを７箇所設置



デジタルマップ上にデータを反映

墓参環境向上の取組

新規 使いやすい貸出用墓参用具置き場

霊園管理所が貸し出しを行っている墓参用具について、墓参者から「長い箒の数を増やしてほしい。」「箒の柄が汚れるので箒を吊る下げるような形にしてほしい。」などの要望を受け、西十三通りと立山地区の桶置場の改善を図った。箒はラックに吊る下げ、長い箒を10本増やし20本に増加。また、来園者の増加が見込まれるお盆やお彼岸に、臨時桶置場（東十四通り）や臨時清掃用具置場（西三通り）を設置。**利用者の利便性を高め、快適な墓参環境を提供した。**（３月）

谷中霊園

東京都公園協会
霊園キャラクター
「みたまちゃん」

歴史を感じ散策を
下町情緒があふれる霊園

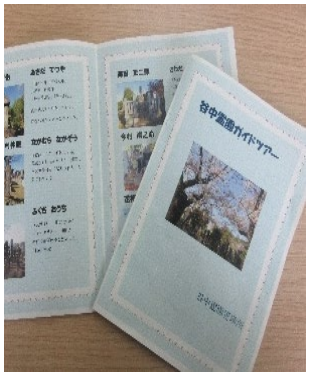
所在地：台東区／開園面積： 102.537ha

谷中霊園の歴史や文化的魅力を積極的に発信

改善 職員によるガイドツアー

令和６年度に実施して好評だった、谷中霊園の著名人墓所や歴史を職員が案内する「ガイドツアー」を継続実施した。今回は芸能で活躍した俳優の長谷川一夫氏、日立製作所の創始者の小平浪平氏、動物学者の石川千代松氏など15か所の著名人墓所を紹介。また、今年度は**新たに「谷中霊園ガイドツアー冊子」を作成**し、参加者に配付した。冊子を見ながらガイドの話を聞くことで、より分かりやすいガイドツアーとした。前回を上回る８人が参加し歴史や文化的な観点から**谷中霊園の魅力をアピール**した。（12月）

ガイドツアーの様子



ガイドツアー冊子

墓参者の目線に寄り添った情報提供とわかりやすいご案内

新規 下げ花置き場案内図の作成及び掲示

園内に22箇所ある墓参時に供えた花を集積する場所を示した、下げ花置場の案内図を作成した。案内図は管理所横の貸出用具置場に掲示したほか、**貸出用具の持ち運びバッグにもQRコードを明示することで、簡単に場所が把握**できるように工夫。墓参者の利便性が向上し、霊園内の美化向上に繋がった。(７～3月)

二次元コードで読みこみ

下げ花置場を案内図に表示

新規 指さしコミュニケーション支援ボードの設置

外国人観光客のほか、年配や障害のある方から、正確に要望を聞き取り、より的確な情報提供をするために、絵を指さしてコミュニケーションできる「指さしコミュニケーション支援ボード」を設置した。意思疎通がスムーズに図れるよう、「文字盤」も合わせて設置することで、**利用者に寄り添った接遇ができる環境を提供**した。（９～3月）

指さしコミュニケーション支援ボードで案内

谷根千地区の立地を活かした、外国人や観光客のニーズに応える取組

新規 視覚で涼を味わう「花手水」の展示

谷中霊園周辺は外国人や観光客が多く訪れ、日本の文化や風物詩に興味を持つ方が多いため、夏場に「花手水」を制作、設置した。暑さの中でも形が崩れないよう樹脂粘土で創作し、「花手水」の歴史や解説を記載した案内板を日本語と英語で表記した。**視覚的に涼を楽しむ日本の夏の文化を、多くの来園者に楽しんでいただくことができた。**（８～９月）

枯山水と花手水の展示

新規 餅花展示による新年の伝統文化発信

新年の縁起物である餅花等を製作・展示し、さくら通りに設置した。五穀豊穣、家内安全といった新年への願いを込めて、来園者を迎えた。日本の豊かな文化に触れる機会を提供することで、日本の伝統や風習に対して親近感をもってもらうことができた。また、来園者に**日本の伝統文化やお正月の風物詩として、伝統を再認識**してもらうことができた。（12～１月）

お正月飾りの展示

快適な墓参環境の提供

新規 園路や空き墓所の雑草抑制

園地や空き墓所の雑草繁茂について、墓参者や隣接する使用者から対応要望が寄せられることから改善策を実施。**空き墓所への防草シート設置と、園路への防草砂を敷設を行った結果、草刈よりも長く繁茂が抑制され、墓参環境が向上した。**今後は、他の区画でも施工し、快適性を向上していく。(10～３月)

空き墓所に防草シートを設置

園路に防草砂を敷設

改善 大切な樹木を維持するための点検

倒木等の未然防止として緊急樹木点検を実施した。園内の樹木516本を点検し、樹木医による診断に基づき、10本を伐採した。また、**今年度クビアカツヤカミキリの被害が確認された樹木は、樹幹注入の処置を行った。**引き続き、園内のサクラを中心に、安全・安心な墓参や散策ができる環境を維持するため、樹木医による診断を仰ぎながら管理を進めていく。(５～３月)

樹木医によるレジストグラフ診断

クビアカツヤカミキリの被害点検

雑司ケ谷霊園

東京都公園協会
霊園キャラクター
「みたまちゃん」

所在地：豊島区／開園面積：10.61ha

地域とつながり、霊園の新たな価値や魅力を積極的に発信

地域とつながり、地域と共に歩む霊園づくり

新規 霊園の歴史・魅力を語る「生涯学習講座」

昨年度の150周年記念講座参加者からの要望に応え、豊島区生涯学習団体の一般講座として、「地元を知る・雑司ケ谷霊園の成り立ちと歴史」講演と、地域ボランティアによる墓所案内を実施。**定員を超える33人の方が参加した。**参加者からは「お墓や霊園の成り立ちが知れて、有意義な講演だった」等の意見があり、**地域における霊園の魅力を発信した。**(１月)

熱心に耳を傾ける受講生の方々

改善 近隣石材店・花店との意見交換会

適正な墓所使用や事故防止等を目的に近隣石材店・花店との意見交換を実施(４店参加)。近年、墓所清掃時の除草剤使用の影響とみられる樹木の枯損が発生している課題を共有。対応策として除草剤使用の影響を周知する取組(使用者へのチラシ配布、注意喚起看板の設置等)について合意をいただき、**地域と共に霊園と樹木を守っていく体制を構築した。**(12月)

意見交換会の様子

改善 近隣団体・教育機関との清掃活動

ボランティア「緑のこみちの会」、南池袋小学校、近隣４保育園と園内清掃活動を９回実施。計281人が参加、90リットルゴミ袋で計80袋(前年25袋)の落葉を回収し、**霊園の美観を向上**させた。また**参加児童・園児たちが自然に触れる機会を提供し、霊園への愛着を育む機会**となった。(11月)

一生懸命に落葉を集める児童たち

改善 連続テレビ小説「ばけばけ」放送に応え、「怪談落語会」「コンサート」を実施

小泉八雲の妻を主人公としたNHK朝の連続テレビ小説が放送されていることを受け、小泉八雲に関連した怪談落語会と墓所巡りを実施(54人参加)。例年好評を得ている、近隣音大学生によるコンサートと近隣ボランティアによる著名人墓所巡りを実施(74人参加)。**多くの方々に霊園の新たな魅力をアピールした。**(２、３月)

「怪談落語会」「コンサート」「墓所巡り」の様子

来園者からの様々な声に応えるサービスの向上

改善 墓参用具置場の増設

墓参用具置場が事務所敷地内にあり、使用時間が限られていたため、墓参者の声に応え、24時間使用可能な用具置場を2か所増設。**早朝や薄暮の利用も可能となり、熱中症予防にも繋がった。**（６月）

24時間使用可能な墓参用具置場

新規 DX活用による墓所案内

独特の区画割で迷いやすい園内の案内ニーズに応えるため、墓所ナビアプリをアピール。 墓参者の増える彼岸期に声かけやポスター等の周知で、**約1,000回の利用があり、利便性が向上した。**（９～３月）

お手持ちのスマートフォンで墓所まで案内

改善 下げ花置き場の更新

園内26箇所の下げ花置場を５年間で全箇所更新する計画を策定。今年度はトライアルとして２か所の補修工事を実施。美観と使い勝手が向上し、**墓参者が気持ちよく墓参できるようになった。**（４～３月）

補修工事を行った下げ花置き場

新設墓所の紹介と適正運用で霊園の魅力を更にアップ

新規 樹林型合葬埋蔵施設の新規貸付がスタート

問合せの多かった施設概要や埋蔵方法を分かりやすく紹介する動画を作成し、公式YouTubeチャンネルで公開。令和８年３月末現在**再生数は約2,137回、視聴した方から「施設の理解がより深まった」等の意見が寄せられた。**また表面を苔で覆った樹林墓地は都立霊園では初めてであることから、除草方法や時期、散水等試行錯誤しながら改善し、**気持ちよく墓参できる環境を整えた。**（６～３月）

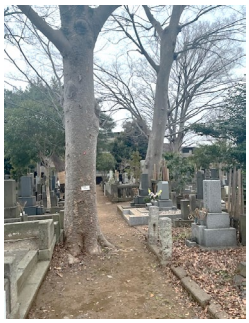
YouTube動画

墓所の雑草除去作業の様子

墓参者が安全･安心に利用できる環境の整備

改善 主要な景観となっているケヤキ等の適切な管理

倒木等の未然防止として緊急樹木点検を実施した。園内の樹木1,023本の点検を実施し、樹木医による診断を経て３本を伐採した。今後も点検が必要な樹木152本を樹木点検アプリに登録することで、**継続的に適切な樹木管理ができる体制を整えた。**また、園内はケヤキやイチョウなどの多くの巨樹が主要な景観を形成しつつも、狭い園路や墓所の間近に位置しており、高所作業車による剪定ができないエリアが多い。**このようなエリアの樹木は支障枝や枯枝処理を登りこんで行い、安全･安心な墓参環境を整備した。**（５～３月）



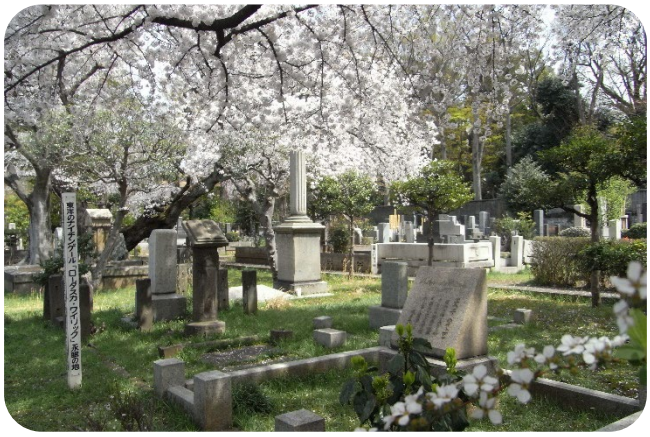
墓所内の状況

高所の枯枝処理

点検状況

染井霊園

東京都公園協会
霊園キャラクター
「みたまちゃん」



所在地：豊島区／開園面積：6.79ha

巣鴨・駒込地域に根差し、地域連携を重視した霊園づくり

地域の教育機関や石材店、花店と密接に連携

改善 近隣保育園との協働事業

近隣の駒込第２若草保育園と１年を通じて様々な協働事業を実施。花苗を用いた花壇づくり、園内の落葉拾いやマナー啓発活動等によって、**園児たちが自然と触れ合う機会を創出。**園児からは、「とても楽しかった、また来てやってみたい。」などの声があり、霊園に対する愛着も醸成した。（６、11、12、２月）

楽しみながらの落葉拾い

花壇づくり

改善 近隣小学校との防災訓練

広域避難場所である染井霊園に学校から避難する想定で、近隣の豊島区立あさひ小学校と協働で避難訓練を実施。学校からの避難ルートを学校と共有した。生徒たちからは「大きな地震が発生しても慌てない行動を心がけます」といった声があがるなど、**地域連携強化と防災意識の向上**に繋げた。（10月）

避難場所に全校生徒が集合

所長から避難場所の説明

改善 近隣石材店、花店との協働事業

近隣石材店や花店と花吹雪広場のクリーンアップキャンペーンを実施。今回は**近隣以外でも染井霊園を使用している石材店にも参加を呼びかけ**、計７人が参加。細園路等も念入りに清掃し、90リットルゴミ袋10袋分を回収。石材店との連携強化によって、**墓参環境が一層向上した。**（１月）

毎年恒例のクリーンキャンペーン

新規 消防署との連携によるAED講習会

クリーンアップキャンペーン後に、**豊島消防署の協力を得て、AED講習会を初めて実施。**参加者からは、「機器の取扱について、専門的に理解できた」といった意見が聞かれ、園内での事故等が発生した時に、**霊園を使用する近隣石材店も救命措置に協力できる体制を構築した。**（１月）

豊島消防署の方から講習を受ける

東京都事業に連動した取組「第2区第3区立体埋蔵施設開設に伴う環境整備」

新規 区画プレートと案内表示板を設置

立体埋蔵施設の追加設置によって、利用者が迷うことがないよう区画プレートや案内表示板を増設。墓参者等から「案内板があったので、すぐにわかりました。」等の声をいただいた。(１月)

新たに設置した区画プレートと案内板

新規 新規立体埋蔵施設前の園路改善

立体埋蔵施設へ通じる園路は、降雨時にはぬかるんでしまうため、快適に墓参できるよう**緑芝シート**を施工。墓参者が通行しやすくなり、**雨の日も安心して墓参**可能になった。(１月)

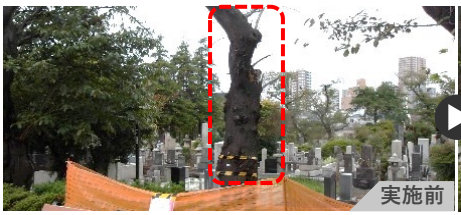
シート施工後は雨の日も安心

サクラを中心とした適切な園内樹木管理の実施

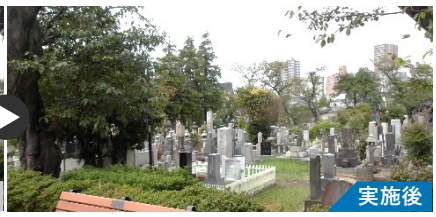
改善 サクラを中心とした緊急樹木点検の実施

倒木等の未然防止として緊急樹木点検を実施した。染井霊園内にあるサクラは、多くが老木化しており、サクラを中心とした363本の樹木について点検を行い、危険樹木については更に綿密な樹木診断を実施。伐採が適切と診断結果が出た樹木については、速やかに伐採処置を行った。**適切な樹木管理により倒木を予防し、安全・安心な墓参環境を確保した。今後は東京都と老木化したサクラの樹木の更新も含めた方向性について協議し、樹木の健全化を維持していく。**(５～３月)

樹木点検の様子



伐採判定の出た樹木



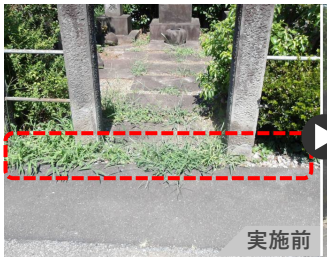
伐採後の様子

園地の雑草繁茂を解決するために効果的な管理を実施

新規 防草シートと防草砂の有効活用

夏場の園地や空き墓所は雑草繁茂しやすく、墓参者や隣接する使用者から対応要望が寄せられるため、空き墓所区画に防草シートを設置した。加えて細園路等の園地には防草砂を敷設することで、**雑草の繁茂が抑制され、墓参環境が改善した。**試行結果について**雑司ケ谷・青山・谷中霊園等にも共有**し、効率的な霊園管理につなげた。(10～３月)

雑草が覆っている空き墓所　　防草シートを施工



園路と墓所の隙間にある雑草　　隙間に防草砂を施工

八柱霊園

東京都公園協会
霊園キャラクター
「みたまちゃん」

所在地：千葉県松戸市／開園面積：104.6ha

開園90周年を迎え、さらなる地域連携で霊園の魅力を積極的に発信

地域連携のさらなる強化で開園90周年をお祝い

改善 「アートの街」と連動した、世代を超えて楽しめるイベント空間を創出

八柱霊園を中心に、地域とつくる霊園まつり実行委員会で、「さくらまつり(４月)」・「七夕まつり(７月)・「紅葉まつり(11月)」を開催。「若い世代にもっと参加してもらい、地域交流を活性化したい」という要望に応えるため、松戸市の取組とも連動し、メインテーマは「やはしらアートデイ」とした。**子どもから大人まで楽しめる様々な取組で、全体の参加者は約4,500人となり大盛況だった。**

親子で楽しめるらくがきアート

防災用品を活用したミニ水中花

ピアノ演奏と映像がリンクする MusicTapestry

改善 近隣の松戸国際高校・聖徳大学と連携したコンサート開催

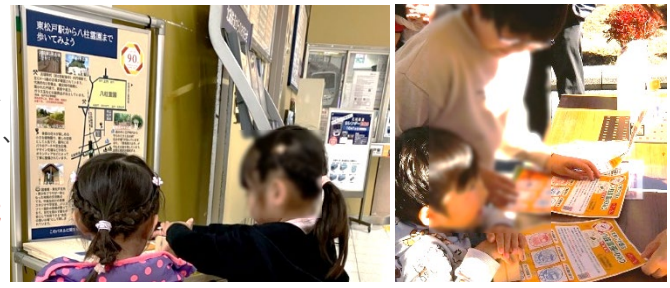
令和６年度の霊園まつりでも好評だったコンサートを継続開催。松戸国際高校に加え、新たに聖徳大学の留学生も参加した。母国ゆかりの楽器(二胡)など、**国際色豊かな演奏で、多くの来場者から好評を得た。**(４、７、11月)

松戸国際高校によるトワイライトコンサート

聖徳大学　留学生による演奏

新規 北総線・京成松戸線と連携した地域周遊スタンプラリーを初開催

鉄道会社と連携したスタンプラリーを初開催した。霊園の最寄り３駅・１施設を巡り、「八柱」の由来や、八柱霊園の一部は飛行場だったこと等、霊園や地域の歴史と文化を伝える内容とし、**完走者には北総線・京成線・霊園のノベルティグッズをプレゼントした。**(11月)



300人以上がスタンプラリーに参加

鉄道会社提供のノベルティ

地域と連携した防災力向上の取組

新規 地域防災訓練におけるワークショップ開催

八柱霊園が広域避難場所であることを周知し、安全に避難してもらうため、近隣小学校の地域防災訓練に出張参加。**霊園職員が広域避難場所の特性や非常用持出し袋の中身を解説するワークショップ**を行い、地域の防災意識の向上に繋げた。(11月)

子どもたちも多く参加

実際に防災用品を体験

改善 夜間避難体験会の開催

防災士の資格をもつ職員による夜間避難体験会を実施(約80人参加)。**実際に夜の霊園を歩きながら、八柱霊園の防災上の位置づけや機能を説明**。また、夜間に発災した場合にあると便利なものを紹介するなどして日頃の備えについて普及啓発を行った。(７、11月)

夜間の発災を想定した防災用品使い方を説明

八柱霊園の自然を守り・伝え・楽しむ

改善 近隣小学校への出張授業を拡大

霊園の自然を広く周知するため、昨年度常盤平小学校で好評だったドングリ観察授業を**稔台小学校にも拡大**。園内で採取したドングリ５種類と松ぼっくりの実物を見せ、違いや特徴を説明することで、**自然や霊園への興味・関心を高めた。**(12月)

直接ドングリを触り違いを体感

どんぐりは工作に活用

改善 市立松戸高校とのクリーンキャンペーン

通学や部活動で日頃から園内を利用している市立松戸高校に働きかけ、クリーンキャンペーンを実施。**７部活207人の生徒が参参加**し、植込みや空き墓所などを中心に、熱心にゴミを収集した。**若い世代との協働作業で、園内美化に関するアピールにも繋がった。**(10月)

霊園職員も清掃に協力

墓参者 来園者の安全・安心を確保する取組

改善 緊急樹木伐採の実施

倒木等の未然防止として緊急樹木点検で園内樹木約2,800本を点検。樹木医の精密診断で危険木と認められた樹木や台風被害で幹割れ等が生じた11本の樹木は**都との協議で伐採・剪定し、近隣の墓所への被害を防ぎ、安全を確保した。**(10月)

高所作業車を使用した作業状況

伐採後の切株と保安状況

改善 タクシー会社にも協力依頼

園内の自転車事故等防止のため、交通安全キャンペーンを実施。令和７年度は市立松戸高校、石材店組合に加え、**新たに松戸警察署、近隣タクシー会社２社に協力を依頼。声掛けや看板設置を通じて、走行マナーが向上した。**(５、９月)

職員による声掛けと誘導

交通安全啓発看板設置

八王子霊園

東京都公園協会
霊園キャラクター
「みたまちゃん」

所在地：八王子市／開園面積：64.43ha

芝生墓地の美観を維持し、安全・安心な墓参環境を提供

彼岸時における園内巡回「墓参バス」の運行及び園路表示の追加

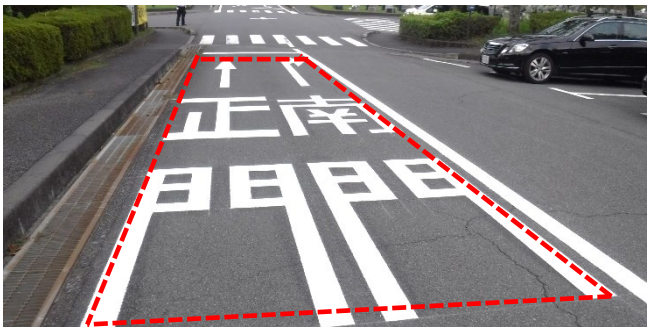
改善 「らくらく墓参バス」運行

彼岸時に園内無料巡回「らくらく墓参バス」を運行し、急坂の多い園内で高齢者等が墓参しやすい環境を整えた。**アンケートでの要望に応えて、停留所とともに休憩用ベンチを1箇所増設して16ヵ所**とし、利用しやすく改善した。利用者は2,457人（前年度比107%）となり、多くの墓参ニーズに応えた。「坂道が多いので楽」「ベンチで休めて助かった」等の感謝の声が寄せられた。（９、３月）

園内停留所から墓参バスに乗り込む来園者

新規 案内用園路表示の追加

交通量が多い園路の交差点に行先を示した路面標示を13箇所追加し、ロータリーで標示が劣化した箇所も表示の補修を行った。自動車での墓参が大幅に増加する**彼岸期に合わせて路面表示を設置したことで、混雑の解消と園内の交通事故防止に寄与した。**来園者からも「園路表示が増えて行先が分かりやすくなり、とても助かる」と好評を得た。（９月）



園路に追加された園内の行先表示

地域連携拡充による防災訓練及び季節イベントの実施

改善 地元消防団と連携した防災訓練実施

地元の八王子消防署及び消防団と連携し、彼岸時に墓参者参加型の消火訓練を実施。**新たにAED訓練も実施**し、墓参者に対する防災と救命の意識啓発につなげた。（９、３月）

水消火器訓練及びAED訓練実施

新規 近隣保育園との七夕・クリスマス

近隣保育園との連携し、例年のクリスマスオーナメント作成に加え、**今年度は新たに**園内発生材を用いた**七夕飾りを管理所前に設置**し、協力関係をより強固にした。（７、12月）

七夕飾りの設置

クリスマスオーナメント作成

芝生地の水はけ改善による生育促進

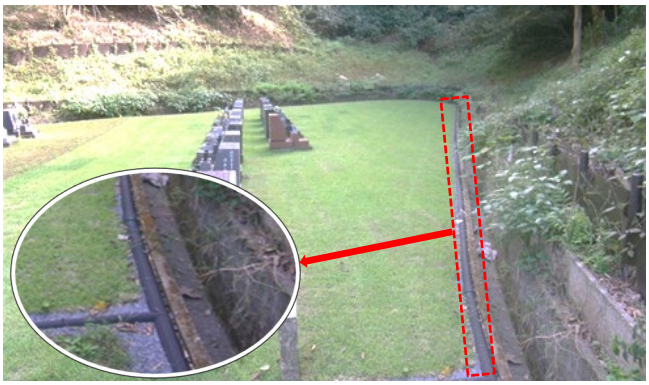
新規 ターフリフレッシャーによる改善

芝生地の排水性向上のため、ターフリフレッシャーの施工を実施。表面排水を目的とした従来の工法に比べて、既存芝生地の改変を最小限に抑えつつ、集排水機能を確保できる工法で、**土壌の排水性と通気性が大幅に改善**された。(８月)

ターフリフレッシャー施工時

新規 副側溝工法による改善

副側溝工法は、従来の工法と比べ、局所的かつ効率的に通水経路を形成できる工法で、施工後は降雨時の排水性が向上した。それにより**苔や雑草の発生が抑制され、芝生は均一で美しい状態を維持**できるようになった。(８月)



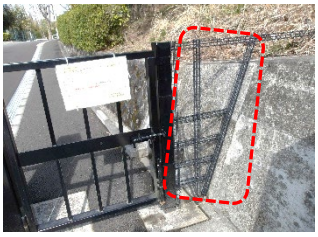
副側溝工法（赤丸）により通水性が良くなった

獣害対策による安全・安心・快適性の確保

改善 イノシシによる芝生被害対策

捕獲や忌避装置による対策から視野を広げ、侵入経路を調査したところ、北門と南門の歩道が侵入口であると判明したため、歩道門と外柵の隙間を新設の鉄柵で完全に塞ぎ、夜間開放していた歩道門もイノシシの活動が活発になる夜間は閉鎖して経路を断った結果、**被害面積は２㎡**となり、平成28年の**調査開始時の3,033㎡と比較して大幅な被害減少を達成**した。(４～３月)

夜間は門を閉鎖して侵入口を断つ



鉄柵を増設し、隙間なく閉鎖

樹林地管理による安全な墓参環境の提供

改善 倒木防止対策 枯損樹木の伐採

倒木等の未然防止として緊急樹木点検を実施した。園内の樹木約750本を点検し、枯損による倒木のおそれがある樹木77本を委託、直営で伐採した。**ナラ枯れ・枯損木を伐採処理したことにより、墓参者が安心できる墓参環境を確保した。**(５～３月)

54区枯損木の伐採処置（直営）

改善 樹林地内の整備

樹林地内で灌木が密集している箇所の除伐を実施。除伐により、**霊園の景観向上だけでなく、樹林地内の日当たりが改善し樹木の健全成長を促した。**加えて、樹林地が開けることで**イノシシの滞留防止効果を生み**、今年度の被害減少に寄与した。(４～３月)

霊園内の樹林地整備処置

（公財）東京都公園協会

多磨霊園

東京都公園協会
霊園キャラクター
「みたまちゃん」

100年の歴史と人をつなぐ公園墓地
多様な人々と連携した霊園づくり

所在地：府中市、小金井市／開園面積：128.0ha

みたま堂改修工事への適切な対応と安定的な運用

新規 みたま堂改修工事に伴う協力と着実な運営

都の改修工事に伴う、みたま堂の閉鎖に際し、調整や安全管理に協力。工事前からヒアリングや資料提供、現地確認に協力したほか、機材搬出入の経路確保や苦情要望等に対応。工事期間中のみたま堂使用者に向けた納骨・引取りの予約ルール整備や記録管理等の**運営方法を構築して、円滑な遺骨の取扱いに繋げた。**また、墓参者に向けた仮設献花台の雨天対策の提案や堂内写真の掲出などにより、**使用者の利便性も確保**した。(４～３月)

都、事業者との定例会議に参加

仮設献花台に外観と堂内写真を掲出

改善 みたま堂長期収蔵施設更新業務

長期収蔵施設の使用期間満了対象者569人に案内送付や電話相談等で着実に対応した。また、改修工事に伴うみたま堂の閉鎖前に、施設変更77件など約120体のご遺骨を事前に取出した。**使用者にご不便をかけることなく適切に運営し、合葬墓地への改葬や返還を遅滞なく対応した。**(４～３月)

記録を取り、遺骨を引出す

閉鎖され足場が組まれたみたま堂

地域とともに取組む 防災力強化と美化活動

改善 霊園を舞台にした地域防災の強化

15年以上継続している住民・消防・警察と連携した水防訓練では、新たな止水版を導入。従来の木製のものから樹脂製を採用することで大幅に軽量化され、**緊急時に迅速な対応が可能となった。**消防署、石材組合と連携し、がれき撤去を想定した石割訓練も継続実施。撮影した動画を隊員教育に活用してもらうなど、**公的な救援活動にも貢献した。**(11月)

新たな止水版を導入

消防による石割訓練

改善 地域の力でクリーン活動

地元石材組合やボーイスカウト、アメリカンスクール等のほか、新たに地元中学校もクリーン活動に参加。**年間約170人が活動して園内美化を促進**した。(４～３月)

大人から子どもまで多様な世代が参加

様々な利用者ニーズに応えるサービス向上の取組

新規 司法書士による相談会

都立霊園初となる司法書士による相談会を開催。名義変更等を法的な見解と手続きを案内し、承継を促進した。(９月)

司法書士と職員がペアで悩みを解決

新規 DX活用による墓所案内

広い園内をスマホなどで案内する墓所ナビアプリをアピール。**約6,000回の利用があり、快適な墓参に繋がった。**(９～３月)

お手持ちのスマートフォンで墓所まで案内

新規 貸出用具の充実化

快適な墓参環境のためアンケートを300件を収集し、２種類を追加。**利便性が向上し、自発的な清掃を促進した。**(９月)

アンケートで導入した小型熊手と草取り鎌

路面標識の改良で園内通行の安全性を向上

改善 ラウンドアバウトによる通行で事故を防止

交通量の多い大廻り通りにラウンドアバウトを１箇所増設。自転車通行帯も増設し、**スムーズな交通で安全性が向上。**お盆、彼岸には府中警察と協力した交通安全運動で安全を確保。(８、３月)

ドライバーや自転車からもはっきり見やすい標示

改善 大径化する樹木の適正管理

倒木等の未然防止として緊急樹木点検を実施。園内樹木約860本を点検し、**通行の多いバス通りのサクラやマツをはじめとした剪定・伐採を進め、園内の安全を確保した。**(５～３月)

年間を通した樹木管理で安全性を確保

公園墓地の豊かな自然を活かした取組と魅力発信

新規 広大な園地を活用した健康づくり提案

公園墓地である多磨霊園の特性を活用し、**霊園内をお散歩コースとして利用するマップを新たに作成。**マップには著名人墓地など霊園の魅力を反映し、 距離に応じたカロリー消費量を食べ物でわかりやすく掲載した。墓参以外の霊園の魅力を発信した。(３月)

園内の見どころも掲載したウォーキングマップ

改善 みんなで楽しむ多磨の野鳥

霊園の自然を発信するために毎年開催している野鳥観察会の**新たな取組として、一般募集による野鳥写真展を観察会に併せて開催した。**講師が応募作品を用いた講評や野鳥の知識を紹介。参加者39人のアンケートは満足度が90％となり好評を得た。(10月)

メモを取りながら熱心に講師の話を聞く参加者

小平霊園

所在地：小平市、東村山市、東久留米市／開園面積：63.35ha

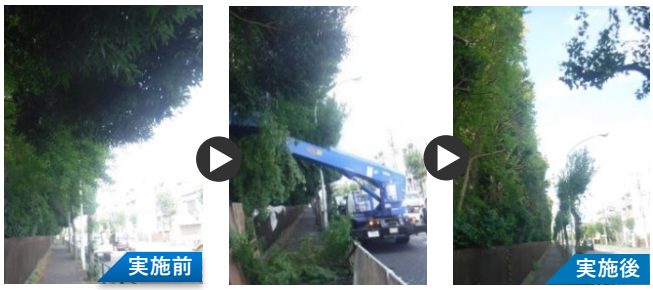
利用者への多様なニーズに応え 安全・安心に利用できる霊園管理

安全・安心に利用できる霊園環境の提供

改善 計画的な危険樹木の処理により、安全・安心な霊園環境を提供

倒木等の未然防止として緊急樹木点検を実施した。園内の樹木約11,864本の点検を踏まえ、園内及び園地外周部を５セクションに分類し、樹高調整、ナラ枯れ伐採、越境枝剪定、枯枝処理等を行った。外周に接する関係機関（西武鉄道・北多摩北部建設事務所・久米川東住宅管理組合）と調整を行うとともに、危険度が高い作業の場合には、**クレーンを使用した吊し切り工法を採用するなど、より安全な方法で危険樹木の処理を行った。**今年度は、**1,406本の樹木処理**を実施。景観改善による日当たりの向上、不法投棄の抑止や防犯効果のほか、小平霊園周辺の交通量の多い新青梅街道沿いや、生活道路となっているさいかち窪沿道の**倒木や落枝による事故を未然に防止し、墓参者や近隣住民が安全・安心に利用できる環境を整備した。**（４～３月）

２台のクレーンを使用し、安全に危険樹木を処理



新青梅街道沿い１kmほどの越境枝を剪定

墓参環境の向上へ向けた都事業との連携

改善 都工事を円滑に進めるための積極的な協力

東京都による案内板182基設置、下げ花置き場25箇所の改修、合葬墓地の墓誌（16基）増設、新規北東門開設ほか工事に際して、都・委託業者との計30回に及ぶ会議で、**墓参者の目線に立った工事スケジュールの提案や掲示物の確認・校正を行った。**工事実施時は、工事業者への安全管理指導や、通行止め箇所等の詳細を周知徹底することで、**工事に伴う事故や苦情を防止し**、都事業の円滑な実施に貢献した。（４～３月）

複数の都委託事業者との調整

凍結防止のため張芝に養生を行う

事故予防のため、LED灯コーンを設置

182基の看板表記の確認・校正

職員と地域が一体となって取り組む芝生火災の防止

新規 巡回警備と消火用具の増設

昨年度多発した芝生火災の防止のため、対策を強化。火災頻度が高い17区画にバケツ、ホース等の消火用具を増設し、**初期消火が迅速に行える体制を確保。**通常警備に加え、火災防止専用巡回班を新たに設け、声掛け等による墓参者への線香や火の取扱いに関する注意喚起を行い、**芝生火災が０件（前年度比-14件）となり、安全な墓参環境を確保**した。（３月）

水消火器を積載した自転車での巡回

火災が多い区画に消火用具を増設

改善 職員による初期消火対応訓練

新規職員が初期消火に対応できるよう「芝生火災対応マニュアル」を作成してOJTを実施。また、フロー図に沿って消火対応訓練を行い、火災発生から初期消火までの流れを確認することで、**有事に備え、職員の対応力を向上**した。（11月）

水消火器による初期消火の様子

消火用具を積載し、迅速に対応

改善 地域一丸で火災防止啓発活動

彼岸期に近隣警察署、消防署との連携により芝生火災防止キャンペーンを行った。火災防止の声掛けやチラシ配りのほか、新たに「水消火器体験ブース」を実施。地域一丸となって**芝生火災防止の啓発活動を行い、芝生火災の減少に繋げた。**（９月）

火災防止の声掛けやチラシを配布

水消火器体験ブースの実施

公園墓地としての魅力を発信!地域との関係強化

新規 地域の魅力発信！観光マップの作成

墓参後に子供連れが楽しめる地域の観光スポットマップを作成・配布。ブリヂストンイノベーションギャラリーや多摩六都科学館、ガスミュージアム等への掲載依頼や、市役所や公共機関等10箇所と打合せを重ね、地域連携を強化した。春彼岸期や窓口で墓参者へ配布し、**「霊園のすぐ近くにこんな面白い施設があるとは知らなかった！」など、感謝の言葉を多数頂いた。**墓参をきっかけに地域の周遊性が生まれ、**魅力発信に繋がった。**（３月）

新規 近隣保育園との季節イベントの実施

近隣保育園から「季節を感じるイベントを一緒に実施したい！」といった声を受け、園児から希望のあったハロウィンイベントを開催。事務所前広場にて、職員も仮装し、スタンプラリーとミニピクニックを行った。その結果、参加した園児約130人から「楽しかった!」といった感想や、先生方からも「霊園でこういったイベントができて親近感が沸いた」といった声を頂き、**公園墓地としての多面的な活用と、地域の愛着醸成に繋がった。**（10月）

仮装した職員がスタンプに協力

多くの園児が参加